

Press Release

2022年8月4日

DMG 森精機 新卒初任給引上げ

DMG 森精機株式会社(以下、当社)は、2023年4月より、新卒初任給引上げを実施します。新卒初任給の大幅改定は2019年以来4年ぶりです。2023年4月入社の新入社員に対して、博士課程卒は363,490円から475,000円^{*1}へ、修士課程卒は285,250円から310,000円へ、学部・高等専門学校専科卒は272,210円から300,000円へ引上げます。なお、2022年4月の給与改定にて、短期大学・高等専門学校本科卒は213,530円から255,910円へ、高等学校卒は、184,190円から239,610円に引上げておりましたが、今回さらに短期大学・高等専門学校本科卒は290,000円に、高等学校卒は280,000円に引き上げます。これにより、賞与を含めた初任年収は、博士課程卒6,825,000円^{*1}、修士課程卒4,650,000円、学部・高等専門学校専科卒4,000,000円、短期大学・高等専門学校本科卒3,700,000円、高等学校卒3,500,000円になる見込みです。また、新卒以外の従業員の給与は、新卒初任給の水準に合わせて2022年7月より改定済みです。高度な人材を確保することで、激動する外部環境に適切に対応できる企業として成長を続けてまいります。

卒業・学位	標準年齢	2022年4月初任給	2023年4月初任給	初任年収
博士 ^{*1}	27歳	363,490円	475,000円	6,825,000円
修士	24歳	285,250円	310,000円	4,650,000円
大学(学部) 高等専門学校専科	22歳	272,210円	300,000円	4,000,000円
高等専門学校本科 短期大学	20歳	255,910円	290,000円	3,700,000円
高等学校	18歳	239,610円	280,000円	3,500,000円

^{*1} 資格給5万円/月、博士号保有者は技能給10万円/月を含みます。

当社は、工作機械単体の販売・サービスだけでなく、工程集約・自動化・デジタル化とそれに必要なソフトウェアを統合した総合的な生産システムをお客様に提供することを事業の中心としています。現在、様々な言語・国籍・性別・専門分野を持つ約12,000名の社員が、日本・ドイツ・アメリカ・イタリア・ポーランド・中国など43カ国で働いています。世界中のあらゆる地域・業種・規模の個別のお客様に対して最適なソリューションをお届けするために、社員に求められるスキルや知識は一層高度化しています。学部・高等専門学校専科・高等専門学校本科・短期大学・高等学校卒に加えて、かねてより力を入れている博士課程・修士課程卒、さらに海外大学の卒業者や通年・キャリア採用など、採用においても多様化が進んでいます。このような状況の中で、当社は月給や賞与単位ではなく、年収ベースで世界各国の給与と比較して適正化を図っており、当社従業員の給与

改定を実施するとともに、今回日本における初任給および年収を国際標準の賃金水準に改定することにいたしました。

当社は「よく遊び、よく学び、よく働き」を経営理念の1つに掲げ、2021年1月に健康経営を宣言し、労働時間・在社時間の厳格管理、勤務間インターバルの確保、全社員の年間有給休暇20日完全取得の推進など、社員の働き方改革と生産性向上、社員それぞれが活躍しサステナブルな生活を送ることができる環境整備に取り組んでまいりました。お客様へ提案・提供している工程集約・自動化・デジタル化の取り組みを自社内においてもますます推進し、さらなる生産性向上に取り組むと同時に、目標とする業績を達成し、すべてのステークホルダーにご満足いただけるよう邁進してまいります。

以上